

2005年春季通常総会議事録

日時：2005年3月29日(火)15:40--17:00

場所：明星大学日野キャンパス1号館1階

議長：祖父江義明

議事に先立ち出席者の確認がなされた。事前投票総数(うち会場参加者との重複は除く)は352名、会場参加は185名、有効委任状提出者0名である。出席者のうちで事前投票をしたものは、事前投票の方を無効とした。結局、有効出席者総数は537で、定足数(正会員総数1578名の5分の1=316名)を満たしていることを確認した。

次に署名人として面高俊宏氏、嶺重 慎氏が選出された。

続いて各賞の授与式が行われ、以下の方々にそれぞれの賞が授与された。なお、受賞理由などの詳細や欧文研究報告論文賞の受賞者全員の名前などについては、天文月報3月号 p. 210 を参照のこと。

天体発見賞 板垣公一(5件)、串田麗樹(2件)、西村栄男、高尾 明(2件)、多胡昭彦の各氏(5名、11件)

天体発見功労賞 中村祐二(2件)、板垣公一、櫻井幸夫の各氏(3名、4件)

天体功労賞 長期的な業績として武蔵高等学校中学校太陽観測部(1団体)

研究奨励賞 片岡 淳、河北秀世、福重俊幸の各氏(3名)

林 忠四郎賞 須藤靖氏(1名)

欧文研究報告論文賞 受賞論文名：The Discovery of Two Lyman Alpha Emitters beyond Redshift 6 in the Subaru Deep Field, 著者：小平桂一氏ほか44名、受賞論文名：Slim-Disk Model for Soft X-Ray Excess and Variability of Narrow-Line Seyfert 1 Galaxies, 著者：嶺重 慎氏ほか3名(2件、49名)

なお、天体発見賞・天体発見功労賞受賞者を代表して板垣公一氏がスピーチを行った。

議事の経過及び結果

1. 2004年度事業報告が杉山庶務理事より報告された(第1号議案)。
2. 2004年度収支決算報告および監査報告が、関井会計理事、家監事より各々報告された(第2号議案)。
3. 祖父江理事長の質疑応答の呼びかけの後、第1号議案、第2号議案は賛成多数で承認された。

報告事項等

1. 日本天文学会100年史編纂委員会の設置など
杉山庶務理事より、標記委員会の設置の報告と委員名簿が報告された。続いて、年会実行委員会、及び天文教育委員会の委員の交代が報告された。
2. 第9回IAUアジア太平洋地域会議 (APRIM2005) について
嶺重 慎氏より、標記国際会議の開催に関する案内があった。
3. 世界物理年特別企画 特別セッション「アインシュタインと天文学」について
開催中の年会での標記特別セッションに関して、杉山庶務理事より案内があった。

2005年4月21日

議長 祖父江義明

署名人 面高 俊宏

署名人 嶺重 慎

2004年度事業報告補足

2005年3月29日の総会において、古在由秀氏より、民間の賞及び研究助成に関して具体的にどこに推薦を行っているのかという質問がありました。天文学会からの推薦を行っている賞、研究助成には井上学術賞、東レ科学技術賞、日産学術賞(以上賞)、山田研究助成、東レ研究助成(以上研究助成)があります。2004年度については、山田研究助成、東レ研究助成についてそれぞれ1件ずつを推薦しています。2003年度には山田研究助成にのみ1件、2002年度は朝日賞、井上学術賞、東レ研究助成について各々1件の推薦を行っています。